



一人ひとりの「力」が私たちの地域を守ります

地域で進む防災活動

自主防災組織

自主防災組織とは、「自分たちの街は自分たちで守る」という「共助」の精神に基づき、地域の人々が自発的に防災活動をする組織です。

自主防災組織の主な活動

平常時

- 防災マップやチラシを作成して住民に配布し、避難所を周知させる
- 避難や救助に必要な資機材を備え、メンバー各自が操作方法を把握する
- 定期的に住民参加の避難訓練を実施し、災害時の行動を身につける等

災害時

- 被災・安否情報の収集、伝達、お年寄りなど支援が必要な人への避難援助
- ケガ人の救護、初期消火活動
- 避難所での救援物資の分配、炊き出し等

弘前市には現在66団体(H29.1.1時点)の自主防災組織があります。28年度は新たに8団体が結成されました。

三世寺町会、藤内、十腰内町会、藤代町会、西部仲町、茂森町、下大川町会、城北町会



石波町会では毎年1回「ふれあいの集い」を開き、避難訓練や防災ゲームで住民の防災意識を高めている(H28/9/11「バケツリレー競争」の様子)

あなたの街も自主防災組織を作りますか？

弘前市は地域の防災力アップのため、自主防災組織の結成を促進しています。

組織を結成した団体には、防災活動に必要な発電機やヘルメットなど、資機材の購入経費を一部補助する制度があります。組織作りに必要な手続きなど、お気軽にお問い合わせ下さい。

問 弘前市防災安全課防災担当
0172-40-7107

いざという時の備忘録 避難所と避難経路を確認しましょう

自宅近くの指定避難所

家族で連絡が取れない時の
待ち合わせ場所

自宅からの避難経路

自宅から避難所までのルートは、実際に歩いて危険箇所がないかを確認しましょう。



災害時の強力な情報ツール

スマートフォン・携帯電話の活用

安否の確認や緊急時の連絡は SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用しよう。

電話がつながりにくくなる災害時でも、Twitter、Facebook、LINEなどはインターネット回線がつながれば、連絡手段として利用できます。

LINEの「既読」機能は、2011年の東日本大震災をきっかけに生まれ、2016年の熊本地震では、安否確認や居場所確認の手段として多く利用されました。緊急連絡用に、家族でグループを作っておくと安心です。

フォローしておく便利な防災関連SNS

弘前市公式サイト

あおり防災情報

首相官邸(災害・危機管理情報)

デマに注意!

災害時、SNSでは誤った情報(デマ)が拡散します。公的機関やマスコミの公式アカウントから情報を入手しましょう。

知って便利な防災関連サイト

「ブックマーク」や「お気に入り」に登録しておきましょう。

気象関連情報

気象庁(気象・地震・噴火情報)
<http://www.jma.go.jp>

落雷情報(東北電力)
<https://www.tohoku-epco.co.jp/weather>

青森県河川砂防情報提供システム
(河川水位情報、洪水予報など)
<http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp>

行政・メディア情報

あおり防災情報(県内の災害・防災関連情報)
<http://aomori.cc/bousai/>

生活・ライフライン情報

あおり交通情報
(道路情報、公共交通情報、気象情報)
<http://aomori.cc/traffic/pc/>

あおり医療情報ネットワーク
(医療機関、薬局、助産所情報)
<https://www.qq.pref.aomori.jp/>

停電情報(東北電力)
<https://www.tohoku-epco.co.jp/teideninfo/>

公衆電話設置場所検索(NTT東日本)
<http://service.geospace.jp/ptd-ntteast/PublicTelSite/>

知っておくと安心!

電話がつながりにくい! 災害時 ケータイ・スマホで使えるサービス



「災害用伝言板」

震度6以上の地震など、大きな災害が発生した場合
ご自身・ご家族などの安否情報を、登録・確認できるサービスです。

ケータイ会社各社共通対応。事前に、ご家族で利用方法を確認しておきましょう。

docomo

ドコモショップ弘前駅前店

弘前市駅前3-5-1 ☎0120-865-568

au

auショップ弘前西

弘前市城西4-7-10 ☎0800-700-2170